## 第10回講演会を開催しました

11月7日(木)に、きらめきプロジェクト第10回 講演会を開催しました。今回は、「医師の働き方いろ いろしというテーマで、社会医療法人財団白十字会 理事長の富永 雅也先生と社会福祉法人恩賜財団済 生会熊本病院 包括診療部 部長の園田 幸生先生、当 プロジェクトのプログラム責任者である樗木晶子先 生にお話していただきました。





男女ともに働きやすい職場環境になる よう、それぞれの先生が尽力されてき た取り組みについてご講演いただき、 参加者からは「目からウロコでした」 といった感想を多くいただきました。

講演を録画 した動画

は、きらめきプロジェクトホームページのW EBライブラリーにアップされますので、医 療関係者には限られますがご興味のある方は 事務局までお問合せください。



参加者の声

- ・貴重な講演をありがとうございました。企業として、病院と連携する立場 として多くのヒントを頂きました。
- ・女性医師に限らず、男女ともに働きやすい環境を作るための様々な取り組 みを知ることができ、非常に勉強になりました。働きやすくする一方で、 質の高い医療を向上させていくという考え方は、本当の意味での働き方改 革<mark>であると実感し</mark>ました。
- ・患者のため、医療人のためのバランスを取る取り組みに尽力されていらっ しゃる演者の先生方に目からうろこでした。
- ・育休から復帰して、いつも他の医師に負担をかけている負い目を感じてお りますが、園田先生のお話のようなことができればみんな happy だなと思 いました。

## きらめき通信 vol.53

2019年11月(隔月発行

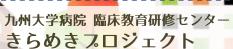
## きらめきプロジェクトの組織名が変更しました

きらめきプロジェクトは、出産・育児・介護・自身の病気等、 さまざまな理由により常勤での勤務が困難な医師・歯科医師に対 し、キャリアの継続・復職支援を行うプロジェクトです。

平成19年9月に文部科学省大学改革推進事業「女性医療人きら めきプロジェクト」として発足後、平成22年からは病院独自の予 算で引き継ぎ、男性も含めた全ての医療人が活き活きと力を発揮 できる医療現場の実現を目指し、日々活動してきましたが、令和元 年11月1日より、事業の恒常化を図ることを目的とし、臨床教育 研修センターに組み入れられる運びとなりました。

これまでは、年度毎のプロジェクトとして毎年更新される組織 でしたが、臨床教育研修センターの中で、初期研修、後期研修に続 くアドバンスコースとして位置づけていただき、恒常的に継続さ れることになりました。

これもひとえに皆様に支えていただいたお陰です。ありがとう ございました。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申 し上げます。



〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL · FAX: 092-642-5203

M A I L: kirapro@kirameki.med.kyushu-u.ac.jp R L: https://www.kyudai-kirameki.com/









## 日々頑張っている、きらめきプロジェクト所属のドクターを紹介します

卒後 14 年目の皮膚科医師です。家族構成は、0 歳と、3 歳の子ども 2 人と、夫の 4 人家族です。 きらめきプロジェクトに所属するまでの経緯ですが、卒後、関連病院や大学で勤務し、専門医を取得した後、大学院に進学、4 年間の大学院生活の



間に、2人の子供を授かり、その間学位を取得しましたが、まだ下の子供も小さかったことから、臨床復帰するにあたり、医局の上司の先生にご相談したところ、きらめきプロジェクトを勧められ、今年の春から、きらめきプロジェクトに所属し、外来診療で勤務しています。

仕事は、大学病院ならではの疾患も多く、大変な時もありますが、難治性の皮膚疾患を抱えた患者様に最先端の治療をすることができるというやりがいもあり、なおかつ幼い子どもとの時間も大切にできるという、ありがたい環境だと、心から感謝しています。

私が仕事の時は、私より出勤が遅い夫が子ども 2 人を保育園に連れて行き、毎週木曜夜のカンファランスの時は、母が都合をつけて、子どものお世話にきてくれています。責任のある仕事と、非常勤という立場に悩むことも多々ありますが、周囲の先生や、スタッフの方々、担当患者様のご理解に助けて頂いていることを、痛感しています。日々悩みはつきませんが、恵まれた環境で仕事ができることに感謝しながら、研鑽を積んでいきたいと思っています。

卒後 11 年目の内科医師です。2019 年 4 月よりきらめきプロジェクトに所属しております。普段は、医師の夫と同じ職場で働いています。週 2 回の大学病院勤務、週 2 回午前中の外勤をしており、残りの時間は主に研究に充てています。現在、4 歳の女の子(おませさん)と 1 歳の男の子(元気すぎて持て余しています)を育てています。

今年の3月に福岡に引っ越してきたばかりで、お互いの実家も遠方ということや、第2子の育児のため約1年休職していたこともあって、入職当初は大変に感じることもありました。特に保育園の入園審査に落ちてしまい、子供たちが別々の保育園になってしまったため、送迎の負担を感じながらのスタートでした。

しかしながら周りのスタッフの皆様のサポートや、夫のサポート (寛大な気持ちでいつも受けとめてくれる)があって、ようやく 日々の生活に慣れてきたところです。福岡はとても暮らしやすく、 特に食材が安くて美味しいことには驚きました。子供たちもそれぞれすっかり新しい環境に慣れてきましたし、同じ保育園に通えることになりました。

きらめきプロジェクトでは、自分のキャリア、 家庭生活のいずれも大切にすることができ、大変ありがたい環境であると感じています。これまでは、例えば研究活動について、自分の置かれた状況では難しいから諦めようと思っていたことも、今ならチャレンジしてみようと思えるようになっています。これは多くの方々のご配慮やサポートがあってのことですので、日々感謝の気持ちをもって、自分のできることは率先して行っていきたいと思います。